

第51回 九州地区 体育指導委員研究大会

平成21年1月24～25日の2日間、宮崎市において「九州地区体育指導委員研究大会」が開催され、九州各県より2400人の体育指導委員が一堂に会しました。本町からは7人の体育指導委員が参加し、体育指導委員としての資質の向上を図りました。

また、長期にわたり体育指導委員として地域における体育スポーツの普及・発展に貢献された、岩切チエさん（上住）



▲表彰を受ける岩切チエさん

が功労者表彰を受けられました。岩切さんは平成2年4月1日に任命されて以来、大崎町体育指導委員として18年間就任され、女性体育指導委員の感性を生かしながら本町社会体育および生涯スポーツの振興に多大なご尽力をされています。

また、曾於地区家庭婦人バレーボール協会会長として、平成12年度より当該競技の普及発展にも尽力されるかたわら、

地域のソフトバレーボールの普及振興にも積極的に取り組んでおられます。今後益々のご活躍を期待いたします。

『郷土料理の力に感謝』

「ねんりんピック」の愛称で親しまれ、21回目を迎えた『全国健康福祉祭』が、昨年10月25日から28日にかけて、鹿児島県内の各会場で開催されました。大会では「鹿児島食文化」を知ってもらう良い機会として、選手団一同に、地産地消の食材で郷土色豊かな昼食弁当が準備されました。

大崎町では囲碁大会が開催され、競技は10月26日、27日の2日間行われ、26日の昼食では、『大隅グルメ弁当、豚汁、黒豚炭火焼き』、27日は『大隅めぐみ弁当、さつま汁、うなぎ蒲焼き』でおもてなしをしました。また、お茶やお菓子、ヤッタネ菜ツタネを使って揚げた郷土料理「がね」や明日葉ジュースなどの大崎町特産品をたっぷり味わって頂きました。

栄養士だより



豚汁、さつま汁は手作りで、食材は、地元商店のご協力により、地元で採れた新鮮で安

心安な食材を使うことができ、調理に関しては、早朝から大崎町食生活改善推進員、生活研究グループをはじめ地域各種団体（延べ約100人）のご協力で、大崎、大丸、菱田改善センターで調理して、会場に運び、熱々の豚汁1000食分、さつま汁800食分が提供され、元氣と思いやりのたっぷり入った美味しい豚汁、さつま汁になりました。

素朴な郷土料理に住民参加の手作りの「おもてなし」は、お腹も、心も満たされた様子で、輝くような笑顔がこぼれ、「ご馳走さまでした。とても美味しかったですよ。元氣が出ました。ありがとうございます。」と、こちらまで幸せな気持ちにさせてくれました。また、鹿児島の豊富な食材と新鮮さに感激され、特に、さつま汁に使った色鮮やかなさつま芋は好評でした。

この様に『食』を囲むと、幸せの輪が大きく広がっていきます。季節の豊かな食材や、人情味あふれる故郷を誇りに思うとともに、次の世代を担う子どもたちに、郷土のすばらしさについて『食』を通して伝えていきたいと再認識しました。

皆さまのご理解とご協力に感謝します。ありがとうございました。